



日刊日... 印刷部... 電話... 郵便... 発行所... 石城郡... 新刊

### 植田町小學校に 縣下稀に見る講堂

#### 近代式の建築に二万三千圓 昨六日盛大なる落成式

石城郡植田町の小學校講堂落成式は既報の如く昨六日午前十時から新講堂に於て舉行された式には諸橋本縣學務部長を初め郡町村長支會長、同教育部長、金成貴族院議員その他全生徒職員を合せて一千五百、工事報告に次へて式に移り國歌合唱、勸講捧讀の後古川町長の式辭、農工事務委員長の工事報告終つて諸員者成瀬巴三氏外同工事關係者及び同町教育に關する功勞者等に感謝、表彰狀と記念品を贈り諸橋學務部長その他來賓多數の祝辭に對する鈴木同校長の答辭ありて式を閉ち直ちに祝賀の宴を催して散會したが尙ほ當日を下して剣道大會、同校を初め郡下小學兒童の成績展、落成記念の學藝會等を開催同地方會て賑はひに終日したる講堂は總工費一萬二千八百圓を以て本年六月竣工約六ヶ月を以て竣工を告げた内容外觀共に縣下稀に見る廣大なるものである

### 泥酔漁夫の亂暴 警察官を袋叩きの

#### 昨夜十一時頃小名濱町に於て 渡邊巡查三週間の負傷

小名濱町の古溪三代義勝方漁夫市田政春(三)同町比佐勇方漁夫谷津田正夫(三)同町宇橋本馬上政治方漁夫地勇(三)は昨六日夜十一時頃町内宇上町地内に於て同町の船主竹中重三郎(三)外二名と酒氣に乗じて喧嘩を初め、其れを鎮撫に駆つた西町駐在渡邊巡查を警察官と知りながら市田、谷津田、菊地三名は下駄を以て同巡查を袋叩きにし顔

### 品評會

#### 雙葉郡産米の 品評會

斷然優秀の大野村雙葉郡の依米品評會は富岡町に開催され去る五日午後一時同町臨海事務所に於て褒賞授

### 千五百圓 應急修理費

平土木監督所では管内に於ける平三坂線、平川前線、湯本石川線の各縣道に橋梁が多く

### 山文事件愈々擴大 今月中旬頃送局か 牡丹園の取調へに移る

村から金百圓消防組から五十圓の記念品を贈呈した山文事件愈々擴大、今月中旬頃送局か牡丹園の取調へに移る。平町仲古鐵商山田文一(三)に係る文書偽造その他の事件は山田の爲め犬馬の勢を取つた同町半谷祥重(四)を共に平署に留置司法主任藤藤部補の取調へを續けられ、妻は上回つたが昨夜は更に店員内藤七郎、菅野和子、山田武の外須賀川町から宮下勇二を召喚喚重なる訊問を行つてゐるが意同地牡丹園に關係する取調であるものと想像されてゐる。尙ほ今回その筋が金澤四郎から端緒を得て進むに至つた謂所山文事件は相當確信あるものゝ如く今月中旬には關係者の送局を見るのではないかと云はれてゐる。

### 泉村農産品評

石城郡泉村農會の農産品評會は去る五日、六日の兩日同村小學校に於て開催に盆裁類の出品に異彩を放ち二三五點に對し、山田郡農技師審査の結果六日午後一時左記に褒賞を授與した

### 氣狂い殿

要領のよい、十錢辨當の味を知る安達郡針道村生れ宗像陽之助(四)は昨六日平町の本町通りを聲高らかに怒鳴り歩いてゐるので平署員が進行すると侮るは米澤高工出の紳士だぞと反り身になり保護室に收容するに對して我輩の最も望むところであるとお手を振つて室内にをさまりチャッカリしてゐるので警察に照會中だが同人は警察の十錢辨當に味を占め腹が空ひてくると此の手をやらかす要領のよい氣狂いひである

### 妻から説諭願

西白河郡西郷村の米村永山三郎(三)は去る八年以來石城郡

#### 前借踏に説諭願

石城郡小川村の山の入農大出幸平は昨十年十二月三日男の進(三)を世話するものに託し、橋本縣足利郡三和村松田機業工場中村浦次郎方へ徴兵検査までの奉公に金二百圓の約束で五十圓を前借し進に二十日餘を働かせたのみで實家に歸つたのを再三の交渉にも言を

#### 富岡特信

雙葉郡富岡町方に於ける原町日東製糸の特約養蠶組合は同社が今回片倉製糸に經營を任せたので現狀のまゝ片倉に移るべきか否かにつき寄々協議の結果大部分は日東の意に服して片倉に寄附せんとする意向の如くであるが適々乾繭處理の實施に際して蠶家側が氣迷ひつゝある機會を狙ふ他社の誘惑がある上に市場の如きも足場固めに余念のない折柄、折柄取引の過度期に於て特約が有利か市場が是かを決定し得ない一般蠶家に多少の動搖がないでもなく目下これ等の三巴戰を演じてゐるが三菱財閥を背景とする日東が業を譲る片倉は名にし負ふ我が國の製糸王國であるだけに漸次一般蠶家がひきつけられて居るやに見られてゐる

#### 富岡農産品評會

雙葉郡富岡農會主催の農産物品評會は去る三日から五日まで開催期以上盛會であつたが受賞者左記の如く褒賞授與は不日各種品評會に合せて舉行する

- ▲一等白菜花井久衛 合津
- ▲一等大根渡邊龜吉 渡邊
- ▲一等葱野野吉 馬鈴薯
- ▲一等猪蹄正造外十一名 ▲三
- ▲二等猪蹄正造外十六名

#### 祖父堅助儀永らく病氣の處療養 不相叶五日午前一時十分永眠仕 り候間此段御通知申上候

追つて葬送の儀は來る八日午後一時自宅出棺菩提院に於て佛式を以て相替み可申候  
昭和十一年十二月七日  
福島縣平町二丁目  
孫 鈴木新右工門  
親戚總代 坂本隆藏  
友人總代 青沼鋒太郎

#### 石城郡藥劑師會 石城郡藥業協會

本會長鈴木堅助殿去五日御永眠被遊候に付き會員各位へ此段謹告候也  
追而明八日午後一時會長宅御出棺菩提院に於て佛式を以て御葬儀を相替み可申候  
昭和十一年十二月七日

